

業績ハイライト

三十三フィナンシャルグループ

三十三フィナンシャルグループ連結

(単位：億円)

科目	2018年9月期
経常利益	49
親会社株主に帰属する中間純利益	499
自己資本比率	8.81%

2018年9月期の業績につきましては、経常利益は49億円となりました。経営統合による初年度の特異要因として「負のれん発生益」463億円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は499億円となりました。

三重銀行・第三銀行(2行単体合算)

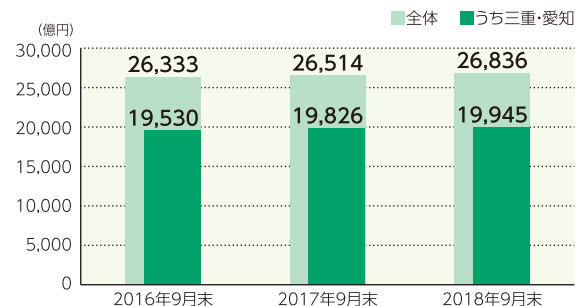
(単位：億円)

科目	2018年9月期					
	2行単体合算		三重銀行(単体)		第三銀行(単体)	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
業務粗利益	246	△1	116	0	130	△1
うち資金利益	195	△2	86	1	109	△3
うち役員取引等利益	45	4	24	1	21	2
経費	190	△6	88	△2	101	△3
コア業務純益	55	5	27	3	28	2
業務純益	55	4	28	3	27	1
経常利益	63	1	33	3	30	△2
中間純利益	47	3	24	1	22	1

貸出金残高(2行単体合算)

2兆6,836億円

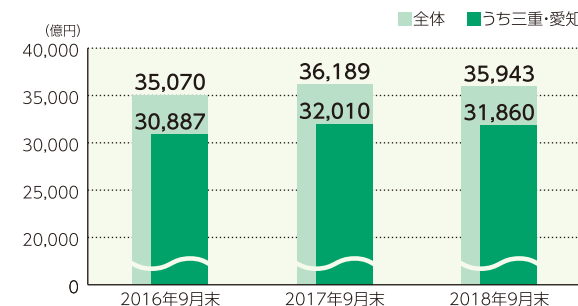
貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前年同期末比322億円増加しました。



預金・譲渡性預金残高(2行単体合算)

3兆5,943億円

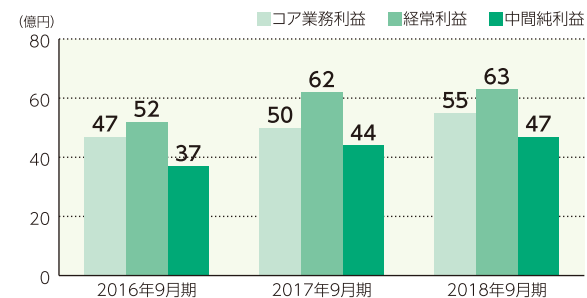
預金・譲渡性預金残高は、法人預金などが減少し、前年同期末比246億円減少しました。



利益(2行単体合算)

コア業務純益 **55億円** 経常利益 **63億円** 中間純利益 **47億円**

コア業務純益は前年同期比5億円、経常利益は同1億円、中間純利益は同3億円、それぞれ増益となりました。



自己資本比率(33FG連結・国内基準)

8.81%(連結)

自己資本比率は、連結で8.81%となりました。

格付け

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

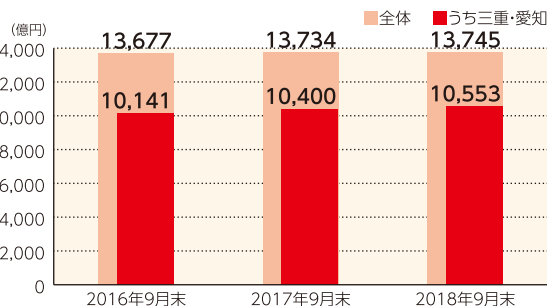
業績ハイライト

三重銀行

貸出金残高

1兆3,745億円

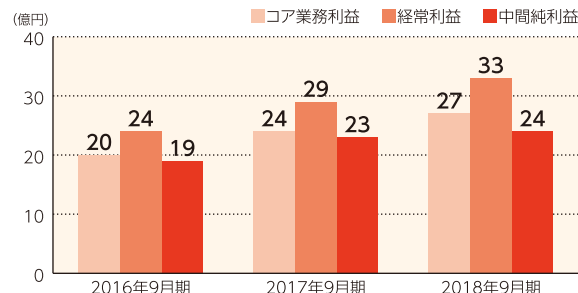
貸出金は、前年同期末比11億円増加しました。
地元三重・愛知では、中小企業向け融資を中心に前年同期末比152億円増加しました。



利益

コア業務純益 **27億円** 経常利益 **33億円** 中間純利益 **24億円**

有価証券利息収入の増加、経費削減などから、コア業務純益、経常利益、中間純利益はそれぞれ前年同期比増益となりました。

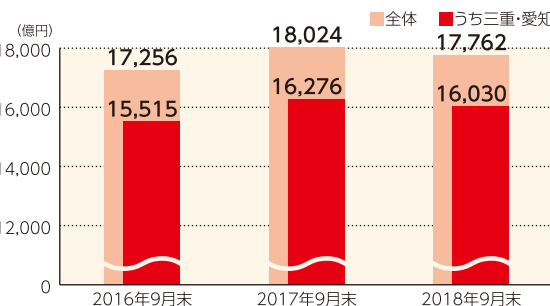


※2016年9月期、2017年9月期は一部計数の組替えを実施しております。

預金・譲渡性預金残高

1兆7,762億円

預金・譲渡性預金は、個人預金が増加しましたが、法人預金などの減少から前年同期末比261億円減少しました。



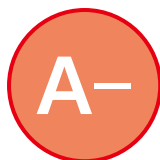
自己資本比率 (国内基準)

7.88% (単体) 8.08% (連結)

自己資本比率は、単体で7.88%、連結で8.08%となりました。

格付け

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付



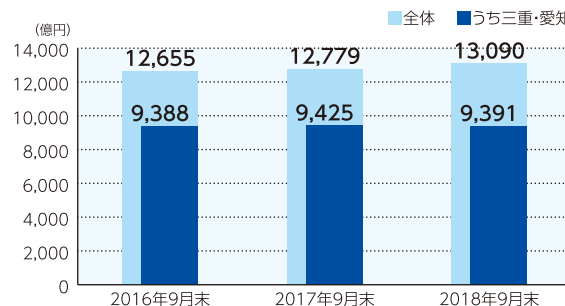
債務履行の確実性は高い

第三銀行

貸出金残高

1兆3,090億円

貸出金は、中小企業向け融資を中心に前年同期末比310億円増加しました。

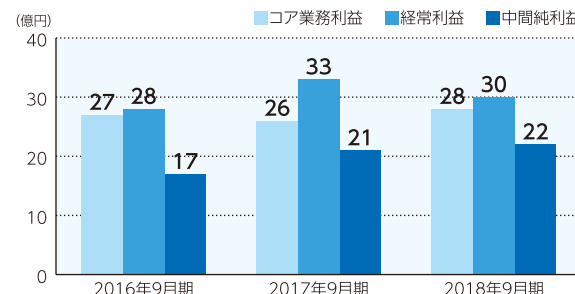


※計数は部分直接償却前です。

利益

コア業務純益 **28億円** 経常利益 **30億円** 中間純利益 **22億円**

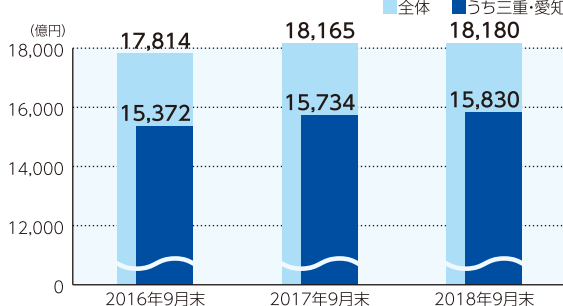
コア業務純益は、役員取引等利益の増加などから前年同期比増益となりました。経常利益は、信用コストの増加により前年同期比減益となりましたが、中間純利益は、特別損益の改善などにより前年同期比増益となりました。



預金・譲渡性預金残高

1兆8,180億円

預金・譲渡性預金は、法人預金を中心に前年同期末比15億円増加しました。



自己資本比率 (国内基準)

8.17% (単体) 8.27% (連結)

自己資本比率は、単体で8.17%、連結で8.27%となりました。

格付け

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い